

カテゴリー	2) ソフト対策の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための取組 ・災害発生危険度の高まりを確認できる「危険度分布の予測（メッシュ情報）」の提供・利活用促進	資料8
内容	新潟県 流域雨量指数の水害危険性周知への活用検討会への参画	
実施主体	新潟地方気象台	

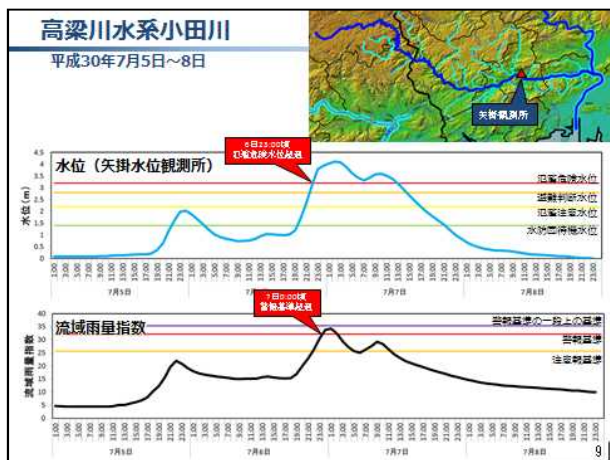
【実施概要】

- ・平成30年度第1回 流域雨量指数の水害危険性周知への活用検討会 平成30年7月30日 県河川管理課、各振興局、気象庁 他
内 容：「災害発生等を受けての流域雨量指数の基準の見直しについて」と題して、危険度分布に用いる基準改訂の概要を解説。
- ・流域雨量指数の水害危険性周知への活用検討会 ブロック会議
内 容：12/6下越、12/7中越、12/10上越、12/11佐渡 各ブロックで今期の流域雨量指数の検証結果を報告、意見交換を実施。
- ・平成30年度第2回 流域雨量指数の水害危険性周知への活用検討会 平成31年3月7日 県河川管理課、各振興局、各市町村、気象庁 他
内 容：「H30県内河川における水位と指数の関係検証等」と題して、H30年取水期の検証結果を包括的に解説。

県の検討会での気象台の役割

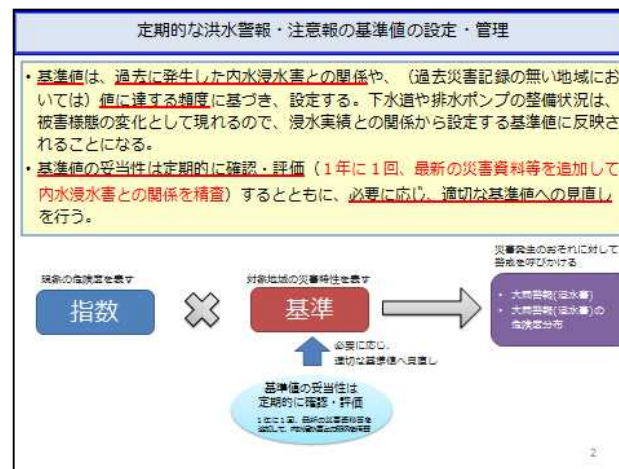
【洪水警報の危険度分布の災害捕捉度の検証】

決壊等の顕著災害の捕捉状況を、振興局、自治体、気象台が連携して検証。主に気象台は基準の適正性を検討し、自治体、振興局は予測も含めた危険度分布の対応状況を検証。



2018.7.6 岡山県小田川の決壊事例の指数グラフ

本庁説明資料



洪水注警報の基準メンテナンス

気象台説明資料

カテゴリ	2) ソフト対策の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための取組 ・災害発生危険度の高まりを確認できる「危険度分布の予測（メッシュ情報）」の提供・利活用促進
内容	出前講座の実施
実施主体	新潟地方気象台

新潟県建設技術センター主催により、「大雨災害に備えて」と題した出前講座を実施。

【実施概要】

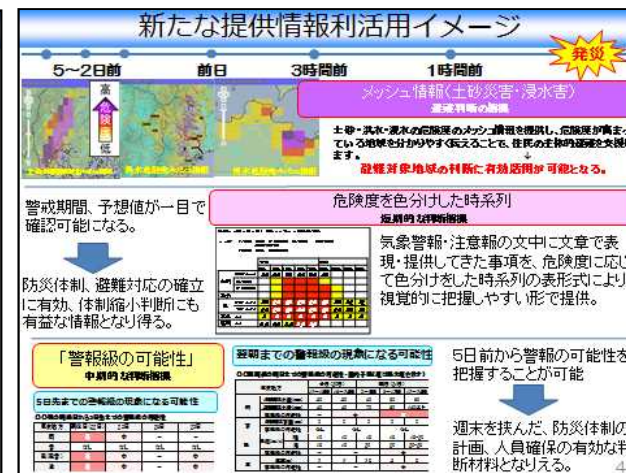
- ・日時：平成30年7月9日 新潟県自治会館にて 県、市町村職員 約200名参加
- ・内容：「大雨災害に備えて」－新たな防災気象情報の利活用－
 - 1.新潟県の過去災害 過去の洪水事例からみた大雨パターン
 - 2.新たな防災気象情報について 「警報級の可能性」「危険度を色分けした時系列」「大雨警報（浸水害）の危険度分布」「洪水警報の危険度分布」等新たな気象情報利活用を通じた水防災について解説
 - 3.新たな防災情報と段階的気象情報の利活用



2018.7.6 岡山県小田川の決壊事例をトピックスとして紹介。



H23年新潟福島豪雨 五十嵐川の危険度分布の事例紹介。



まとめとして、新たな防災気象情報の利活用をタイムライン的に紹介。

カテゴリ	2) ソフト対策の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための取組 ・災害発生の際の危険度の高まりを確認できる「危険度分布の予測（メッシュ情報）」の提供・利活用促進
内容	ポスター「身に迫る災害を一目で確認 危険度分布」の配布
実施主体	新潟地方気象台

ポスター「身に迫る災害を一目で確認 危険度分布」の配布

【実施概要】

- ・日 時：平成30年9月下旬に配布し、掲示を依頼。
- ・内 容：気象庁では、雨による災害発生の際の危険度を地図上に表示する「洪水警報の危険度分布」等を提供しています。危険度分布をより多くの方に知っていただくため、ポスターを制作市町村（14市町村手交、ほか郵送）、鉄道駅（新潟駅など3駅）、道の駅（12箇所）等に順次配布の上、掲示をお願いしている。



ポスター危険度分布
天気の人から防災の達人へ
気象予報士の天達武史さん



ポスター危険度分布
災害から我が子の命を守るために
気象予報士の井田寛子さん